

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ 細菌性赤痢の報告が1例(60歳代男性)ありました。感染地域は国外(ペルー)で、感染経路は経口感染です。本年初めての報告となっています。
- ・ アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が1例(70歳代男性)あり、本年の累積報告数は12例となりました。
- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が2例(ともに60歳代男性)(第18週追加報告分1例含む)あり、本年の累積報告数は13例となりました。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が5例(10歳未満, 60歳代, 70歳代, 80歳代, 90歳代各1例, すべて女性)(第18週追加報告分1例含む)あり、本年の累積報告数は38例となりました。
- ・ 百日咳の報告が1例(10歳未満女性)あり、症状は持続する咳、夜間の咳き込み、嘔吐です。感染地域、感染経路は不明です。本年の累積報告数は9例となりました。
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は1.70(73例)となり、前週0.81(35例)から倍増しました。5月から6月にかけてが流行の時期です。うがい・手洗いで予防に努めましょう。

◆ 今週のトピックス:< 感染性胃腸炎 >

京都市の感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、7.07(304例)であり、過去5年間の平均とほぼ同じ状況となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 8例(肺結核 4例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 4例)うち喀痰塗抹陽性 3例
【1月以降の累積報告数 124例(肺結核 49例, その他結核 31例, 潜在性結核感染者 44例)うち喀痰塗抹陽性 24例】
- ・ 三類:細菌性赤痢 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:アメーバ赤痢 1例【1月以降の累積報告数 12例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 13例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 5例【1月以降の累積報告数 38例】
- ・ 五類:百日咳 1例【1月以降の累積報告数 6例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.20	14
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	7.07	304
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.70	73
	③ 突発性発しん	0.44	19
	④ 咽頭結膜熱	0.33	14
	⑤ 水痘	0.23	10
眼科	流行性角結膜炎	0.20	2

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:< 感染性胃腸炎 >

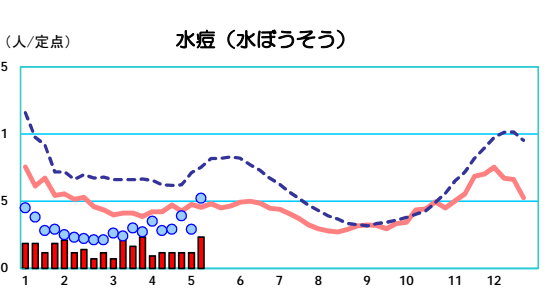
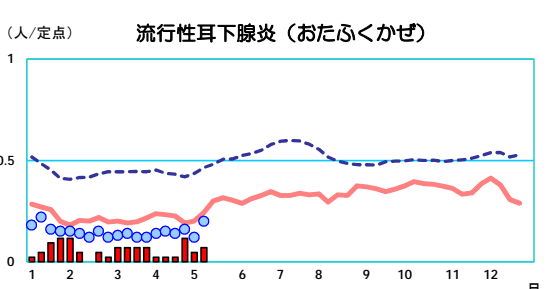
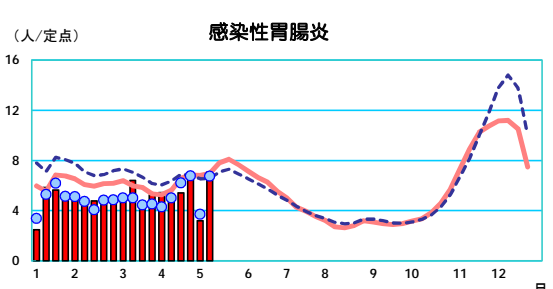
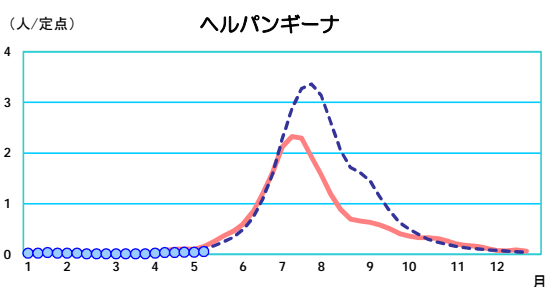
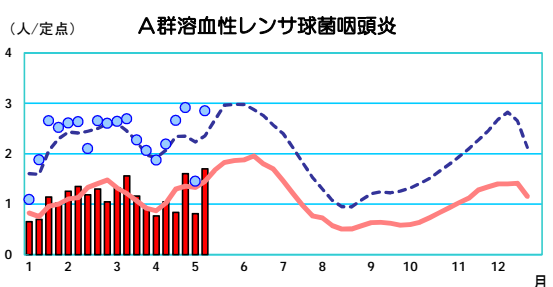
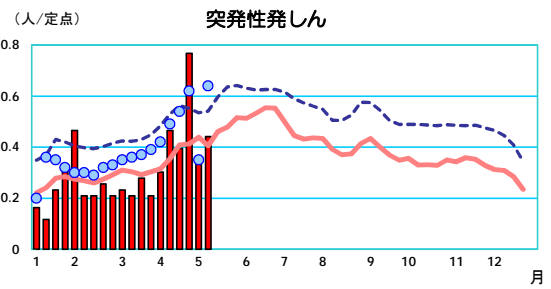
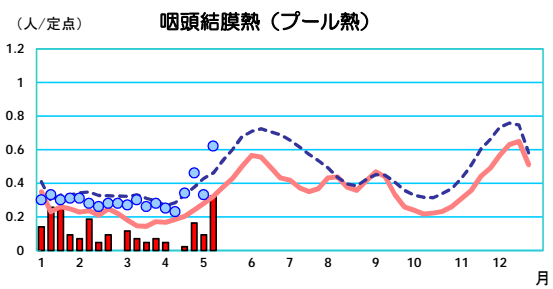
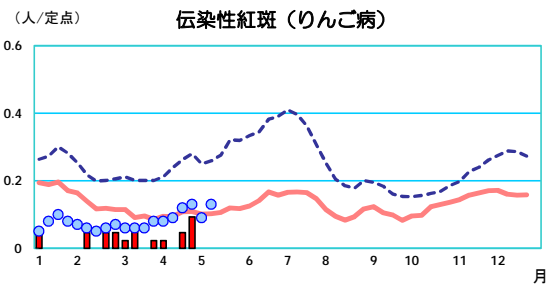
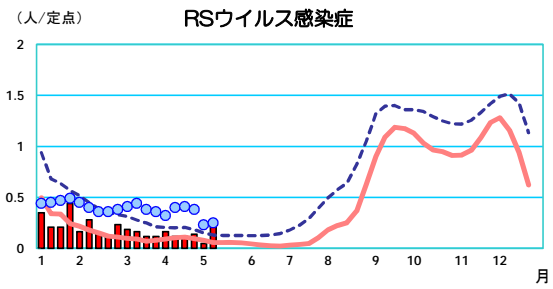
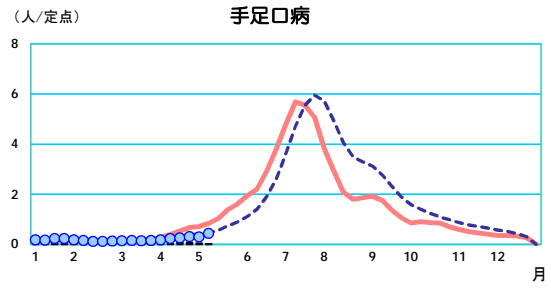
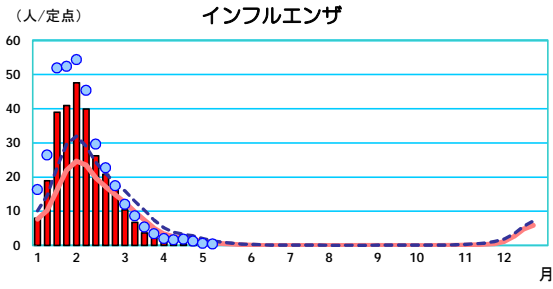
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成30年5月16日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



第19週(5月7日～5月13日)トピックス: <感染性胃腸炎>

京都市の感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、7.07(304例)であり、過去5年間の平均とほぼ同じ状況となっています(図1)。都道府県別の定点あたり報告数を最近5週(第15～19週)の平均値で見ると、警報レベルである20に達している都道府県はありませんが、中国、四国、九州で多い傾向がみられます(図2)。

感染性胃腸炎の原因となる病原体は様々です。例年、冬季にはノロウイルスが、春先から5月にかけてはロタウイルスが原因となる場合が多い傾向があります。感染症発生動向調査では、感染性胃腸炎のうち、原因がロタウイルスと判明した報告を別途集計しています。

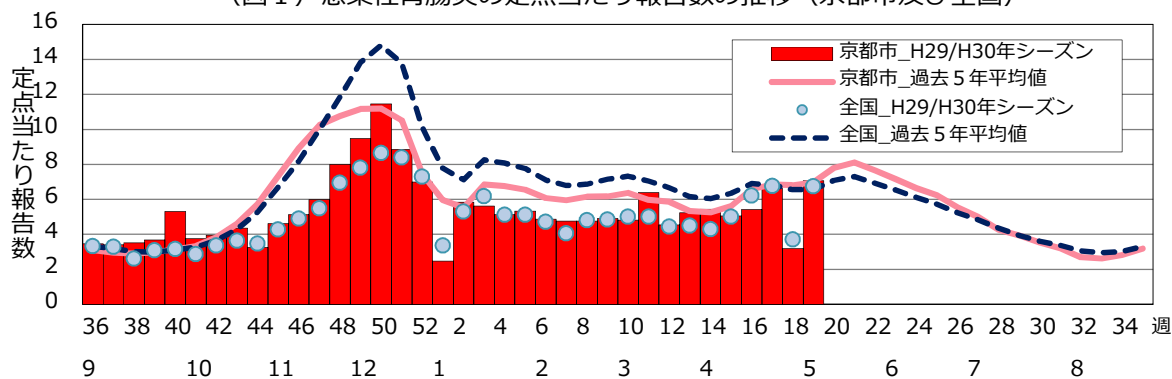
本年の全国のロタウイルスによる感染性胃腸炎は2月中旬からの報告数が増加し、4月中旬にピークを迎えました。今週は138例の報告がありました。年齢階級別割合を見ると、全ての週で1歳から4歳の報告が最も多く、0歳をあわせると4歳以下でおおむね6～8割を占めています(図3)。

ロタウイルス感染症は、乳幼児の嘔吐・下痢症の一つであり、生後6箇月頃から2歳頃に多く発症します。就学前の子どもの約半数が、一度はロタウイルス感染症で小児科外来を受診するとも言われています。

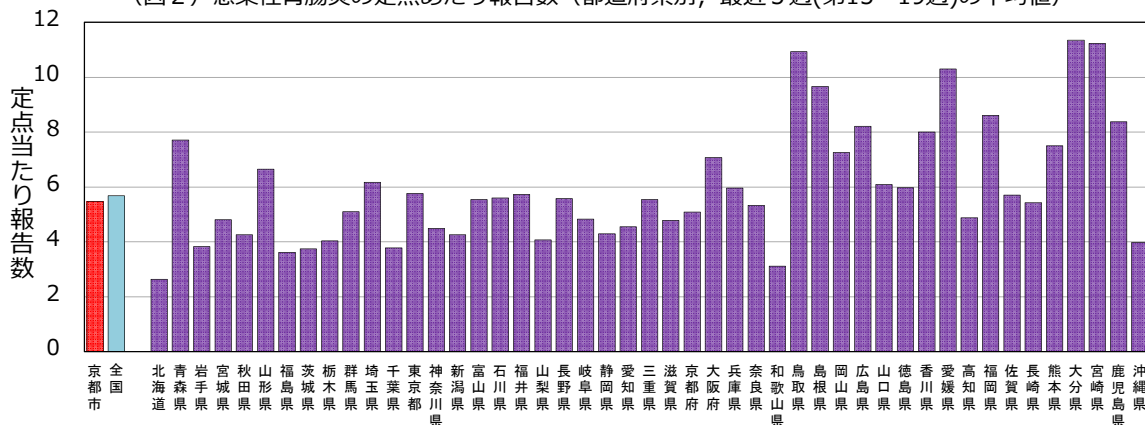
ロタウイルスは感染力が非常に強いウイルスです。保育所や幼稚園で、集団発生を引き起こす原因となります。感染対策はノロウイルスと同じです。突然の患者発生にすぐに対応できるように、消毒薬(次亜塩素酸ナトリウム溶液)を準備し、マスクや手袋を含む嘔吐物処理セットの使用手順などを再確認しておきましょう。また、任意接種のワクチンがあります。生後6週から接種でき、ワクチンの種類によって2回又は3回接種します。

京都市衛生環境研究所では、ロタウイルス感染症のポスターを作製しています。下記URLを御参照ください。
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000146/146238/KoDoMo30-03.pdf>

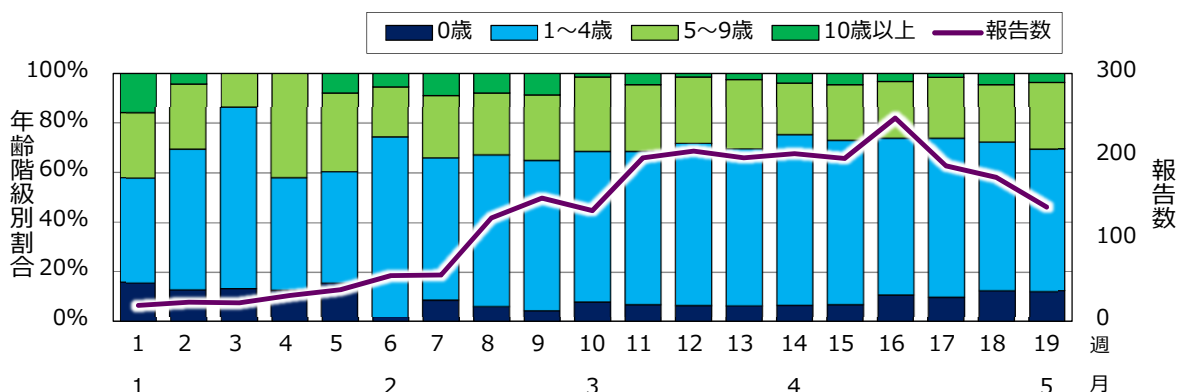
(図1) 感染性胃腸炎の定点当たり報告数の推移(京都市及び全国)



(図2) 感染性胃腸炎の定点あたり報告数(都道府県別, 最近5週(第15～19週)の平均値)



(図3) ロタウイルスによる感染性胃腸炎の報告数と年齢階級別割合(全国)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第19週

疾病,行政区別報告数

平成30年5月7日～平成30年5月13日

データ入手日:平成30年5月16日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘルパンギーナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	1	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1						
上京	3	-	-	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	-	-	-	8	72	1	-	-	1	-	-	-	-						
中京	-	1	-	8	10	3	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	1	1	-	2	22	1	-	-	-	-	-	-	-						
山科	2	7	1	4	13	1	-	-	4	-	-	-	-						
下京	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	1	-	-	5	11	-	-	-	-	-	-	-	-						
右京	-	-	8	13	50	2	-	-	2	-	1	-	1						
伏見	5	-	2	16	77	2	-	-	6	-	1	-	-						
西京	1	-	1	13	45	-	-	-	3	-	1	-	-						
京都市計	14	9	14	73	304	10	1	-	19	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘルパンギーナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	0.14	-	0.50	-	-	-	-	-	0.25	-	-	-	1.00						
上京	0.60	-	-	1.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	-	-	-	2.00	18.00	0.25	-	-	0.25	-	-	-	-						
中京	-	0.33	-	2.67	3.33	1.00	0.33	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	0.33	0.50	-	1.00	11.00	0.50	-	-	-	-	-	-	-						
山科	0.29	1.40	0.20	0.80	2.60	0.20	-	-	0.80	-	-	-	-						
下京	-	-	-	-	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	0.20	-	-	1.67	3.67	-	-	-	-	-	-	-	-						
右京	-	-	1.60	2.60	10.00	0.40	-	-	0.40	-	0.20	-	1.00						
伏見	0.45	-	0.29	2.29	11.00	0.29	-	-	0.86	-	0.14	-	-						
西京	0.13	-	0.20	2.60	9.00	-	-	-	0.60	-	0.20	-	-						
京都市計	0.20	0.21	0.33	1.70	7.07	0.23	0.02	-	0.44	-	0.07	-	0.20	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象：平成30年第19週

年齢階級，疾病別報告数

平成30年5月7日～平成30年5月13日

データ入手日：平成30年5月16日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	14	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	1	-	2		1	-	-	1	1	
RSウイルス感染症	年齢3	9	1	2	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		14	1	1	7	2	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		73	-	-	1	3	5	8	13	9	12	5	3	8	1	5	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		304	4	30	56	36	21	23	23	16	15	8	4	34	11	23	-	-	-	-	-	-	-
水痘		10	-	1	1	1	1	2	-	-	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		19	-	4	14	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		3	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級，疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.20	-	-	-	0.07	-	0.01	-	-	-	-	-	0.01	-	0.03	0.03	0.01	-	-	0.01	0.01
RSウイルス感染症	年齢3	0.21	0.02	0.05	0.07	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.33	0.02	0.02	0.16	0.05	0.02	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.70	-	-	0.02	0.07	0.12	0.19	0.30	0.21	0.28	0.12	0.07	0.19	0.02	0.12	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		7.07	0.09	0.70	1.30	0.84	0.49	0.53	0.53	0.37	0.35	0.19	0.09	0.79	0.26	0.53	-	-	-	-	-	-
水痘		0.23	-	0.02	0.02	0.02	0.02	0.05	-	-	-	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.44	-	0.09	0.33	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.07	-	-	-	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	0.10	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは，鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが，新型インフルエンザのうち，A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌，肺炎球菌，インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第19週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年5月16日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	66	52	37	41	14	14
RSウイルス感染症	7	5	5	6	2	9
咽頭結膜熱	2	-	1	7	4	14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	33	45	36	69	35	73
感染性胃腸炎	234	217	233	285	137	304
水痘	4	5	5	5	5	10
手足口病	3	1	3	3	2	1
伝染性紅斑	1	-	2	4	-	-
突発性発しん	13	20	17	33	15	19
ヘルパンギーナ	1	1	2	1	2	-
流行性耳下腺炎	1	1	1	5	2	3
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	4	2	7	4	2
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	367	351	344	466	222	449

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.96	0.75	0.54	0.59	0.20	0.20
RSウイルス感染症	0.16	0.12	0.12	0.14	0.05	0.21
咽頭結膜熱	0.05	-	0.02	0.16	0.09	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.77	1.05	0.84	1.60	0.81	1.70
感染性胃腸炎	5.44	5.05	5.42	6.63	3.19	7.07
水痘	0.09	0.12	0.12	0.12	0.12	0.23
手足口病	0.07	0.02	0.07	0.07	0.05	0.02
伝染性紅斑	0.02	-	0.05	0.09	-	-
突発性発しん	0.30	0.47	0.40	0.77	0.35	0.44
ヘルパンギーナ	0.02	0.02	0.05	0.02	0.05	-
流行性耳下腺炎	0.02	0.02	0.02	0.12	0.05	0.07
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.40	0.20	0.70	0.40	0.20
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	8.11	8.01	7.83	11.02	5.35	10.47

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。